

靴選びのポイント

靴を選んでみよう！



足幅が狭め
のお子さま

甲が低く足囲が
小さい傾向

ポイント 太いベルトでしっかり足を固定できる靴を！

足囲が小さく靴の中で足が前後左右に動きやすいため、きちんと固定しないと、かかとと靴の間に隙間ができてつま先が詰まり、指が曲がってしまう可能性があります。足をしっかり固定できる靴を選びましょう。

太いベルトや2本タイプのベルトなど、広い面で押さえるタイプの靴がおすすめ。安定感があり、着脱するときも掴みやすくて◎。インソールを取り出し、市販のインソールを同じ形に切って下に重ね、足と靴をフィットさせることも有効です。



足幅が広め
のお子さま

甲が高く足囲が
大きい傾向

ポイント 柔らかい素材で、ゆったり履ける靴を！

足囲が大きく、靴に足が当たって負担を受けやすいため、硬い素材の靴、指先が細いデザインの靴は、窮屈に感じます。足の甲が高い傾向があるため、甲の部分が大きく開く靴を。横に羽を広げるように靴が開くため、ゆったり履くことができます。

幅を調整でき、指先がゆったりした、柔らかい素材の靴を。靴を履いて、立って体重をかけたときに幅や甲が圧迫されすぎていないかチェックしましょう。



くつえらび5か条に沿って
かならず両足で試し履きを！

必ず両足で試し履きをして、歩いてみましょう。メーカーによって、同じサイズ表記（足長）でも靴の長さ、幅が異なることがあるので、履きやすく、歩きやすい靴を選びましょう。

インソールで簡単サイズチェック

子どもの足の成長は早いものです。靴の中敷き（インソール）を取り出して、シーズンごとにサイズをチェックして、ジャストサイズの靴を選んで履くようにしましょう。

簡単
サイズ
Check!

IFMEウインドラスソーサーの
サイズ別サンプルをご用意して
います。お子様の足裏にあてて、
サイズ確認にご使用ください。



「靴選び」のポイント！

いい靴の条件

1. かかとがしっかりしていること
2. 足指の曲がる位置で靴が曲がること
3. 靴ひもやベルトで甲を留められること
4. つま先が少し反りあがっていること

子ども靴を正しく

履いてみよう！

マジックテープを広げて足を入れやすくし、靴に足を入れてかかとをトントンして、靴のかかとの内側にフィットさせます。かかとが動かないようしっかりマジックテープを締めます。つま先をトントンすると、靴の形が崩れたり、靴の中で足が動いてしまうのでNG！



子ども靴を正しく

脱いでみよう！

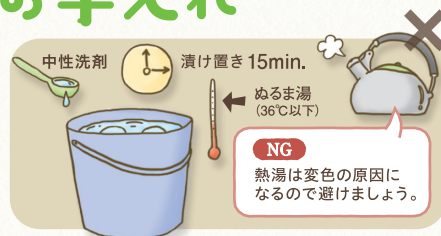
マジックテープをはずして、開口部を広げて足を抜きやすいようにし、手でかかとを持ちながら脱ぎます。かかとをすり合わせて脱ぐと、いちばん大きなかかとの形が崩れてしまうのでNG！ 脱いだ後は、中敷きを出して手で触り、汚れや状態をチェックしましょう。



子どもの靴、どうやってお手入れすればいいの？

子どもくつの正しいお手入れ

乾いた状態で靴の表面から内側、中敷きなど全体をブラッシングしてから、バケツに中性洗剤を溶かした水をはり、かかとを下向きに靴全体を漬けて15分ほど置きます。落ちきれない汚れをブラッシングした後、しっかりすすぎ、乾いたタオルで水気を取ってから、かかとを下向きにして陰干ししましょう。洗剤が残ったまま干すと、変色やしみの原因になるのでNG！



About
US!

こども想いのくつえらびアンバサダープロジェクトってなに？

「くつえらびアンバサダープロジェクト」は、「全ての親に「正しい靴選び」の基礎知識」をスローガンに活動しています。正しい靴選びと靴の履き方から、子どもたちの健康と笑顔を広げる活動です。学んだ親が、まだ知らない親へ伝えられるよう、大切なことをシンプルにまとめました。専門家の研究に基づく内容で、子どもの健康を第一に考える靴メーカーと親たちの「子どもへの愛情」が込められています。

「くつえらびアンバサダープロジェクト」は、子どもたちの健やかな足を育む靴・IFME(イフミー：丸紅コンシューマープランズ株式会社)と、社会貢献したいママの全国コミュニティPowerWomenプロジェクトの協働プロジェクトです。

IFME イフミー
<https://ifme.jp/>

PowerWomen パワーウーマンプロジェクト
<https://tomoe.life/powerwomen>